

科目名	リハビリテーション概論	担当教員	伊藤 俊一 ※は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	1年次	前期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13CD	①、③、④					

科目概要	リハビリテーションの歴史、基本概念、基本理念を理解し、リハビリテーションに関わる医療者によるチーム医療を理解する。また、廃用症候群や介護予防を理解し、その予防法に関して理解する。
学習目標	① リハビリテーションの概念および理念を説明できる。 ② 廃用症候群とその具体的予防法を説明できる。 ③ 介護予防とその具体的方法を説明できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	リハビリテーションとは 保健・医療・福祉の連携、医療連携とチーム医療、	リハビリテーション医学、保健・福祉との連携、他職種間医療連携とチーム医療を理解する。	
2	障害受容 介護予防	障害受容と介護予防、障害受容と自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム	障害受容と介護予防、自立支援、就労支援、地域包括ケアシステムなどの各種リハビリテーションシステムに関して理解する。	
3	廃用症候. 1	医療者と障害者との関り リスク管理	医療者と障害者との関りと各種疾患でのリスク管理に関して理解する。	
4	廃用症候. 2	関節拘縮と関節可動域 (ROM) 制限	廃用症候群による関節拘縮と関節可動域制限の成因とその予防を理解する。	
5	廃用症候. 3	筋力低下と筋萎縮	廃用症候群による筋力低下、筋萎縮の成因とその予防を理解する。	
6	廃用症候. 4	運動器疾患	関節可動域制限および筋力低下による運動器疾患の成因とその予防を理解する。	
7	廃用症候. 5	褥瘡	廃用症候群による褥瘡の成因とその予防を理解する。	
8	障害予防と健康増進.	各種障害の予防と健康増進	リスク管理、障害予防	
評価方法		講義時間内の課題提出 5回×5点 (25点)、筆記試験 75点		
課題に対するフィードバック		講義中および講義終了後、質問を受け付けて回答する。 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。		
教科図書		特に指定しない (資料配布)		
参考図書		椿原彰夫・著『リハビリテーション総論 改訂3版』診断と治療社、2017年 柳澤信夫・監、小松康喜・編『見て知るリハビリテーション医学』丸善出版、2016年		
学習の準備		特に予習の必要はないが復習は必須となるので、講義で理解が不十分である箇所を明確にして、次の講義で解決できるように質問等の準備をすること (計 180分)		
オフィスアワー		毎週火曜日～金曜日 8:30～17:00		

担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	
-----------------------------	--